

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		6-	1
事業名	環境衛生経費	会計	款	項	目
		一般	4	1	4
施策	4 快適なまち	課名	環境防災課		
	4-1 環境と共生するまちをつくる	係名	環境資源係		
	4-1-2 自然環境の保全				
主要施策	①環境保全意識の高揚		②環境保全活動の促進		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	環境保全活動や環境美化活動にかかる広報・啓発を推進し、環境保全意識の高揚を図る。
事業内容	環境保全活動や環境美化活動にかかる広報・啓発を推進し、環境保全意識の高揚を図る。 町内における環境測定結果の報告及び「桑名・員弁広域環境基本計画」の内容を協議するため、東員町環境審議会を開催する。 町内の環境美化運動を実施した団体に報償金を交付するなど、まちづくりの美化活動が活発に行われるよう継続して支援する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和元年度 (決算)		令和2年度 (決算)		令和3年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B			6,315		4,411		5,571	
財源内訳	直接事業費 A		3,939		2,035		2,403	
	うち一般財源		3,939		2,035		2,403	
人件費 (千円) B			2,376		2,376		3,168	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.36		2376		0.48	
	臨時職員 (人・千円)				0		0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	クリーン作戦委員会の活動が中止となったため、委員会が行っていた環境啓発活動については行政が主体となり情報発信していく。また、環境美化報奨金制度が令和3年度で廃止となるが、地域コミュニティ再生応援交付金を活用していく。	③取組の課題	行政主体ではなく、クリーン作戦委員会が自立して活動できるよう取り組む予定だったが、コロナウイルス感染症拡大防止のため全ての取組ができなかった。
②R2年度に実施した取り組み	三和小学校4年生による環境学習の一環として、資源ごみストックヤードにおいて、資源ごみの収集から処理について環境学習を実施。また、コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していたクリーン作戦委員会の活動は全て中止となった。	④今後の改善計画	クリーン作戦委員会がR2年度で廃止となったため、委員会が行っていた環境啓発活動について、今後は行政から情報発信していく。また、環境美化報奨金制度が令和3年度で廃止となるが、地域コミュニティ再生応援交付金を活用していく。